

食鹽水を

御注腸申上ぐ

聖上陛下御容態十九日午後十時卅分宮内省發表左の如し

御体温	御脈搏	御呼吸
三七、四	一一二	二七
三七、四	一一二	二七
三七、四	一一二	二七

午後九時卅分生理的食鹽水三百立方糎を御注腸申上ぐ
昨夜は……

御小康と拜し奉る

日時	御体温	御脈搏	御呼吸
十九日午後十二時	三七、六	一一六	二四
二十日午前六時	三七、六	一一四	二四
同日同八時半	三七、六	一一二	二二

昨夜は御小康を得させられたると拜し奉る
(廿日午前八時半宮内省發表)

深夜の子鐵倉社頭に

白衣の祈願者額づく

境内には百燭光さん爛

けふの祈願團體

聖上陛下の御不例に就いては赤子たるもの齊しく御惱御平癒の一日も速やかならん事を祈念し奉る處であるが、平町縣社子鐵倉神社の山部神官の云ふ處に依れば夜も深更に及び草木も眠る丑満つ頃白衣の祈願者が毎夜社前に額づくを見たとの事にて午前三時頃よりは参拜者引きも切らず合掌祈念する様は真に涙ぐましい情景であると此事を聞いた

東部電力 平營業所の武田所長が痛く感激して参拜者の爲めにと云ふ處か

境内の電燈を全部百燭光に替へ神前の提灯にも五十燭宛を奮發する等木立茂き境内も今は晝をあとむくまゆさである今日も個人の祈念者に互して午前九時石城郡醫師會を代表し會長市原卯太郎、理事藤沼平次郎の兩氏を始め午前十一時には磐城高等女學校、藤田、平陽兩女學校の生徒が全部肅々として境内に集合夫々御平癒祈願の赤誠を傾けた

磐崎商業夜警 石城郡磐崎村小野田炭礦商業組

合では十八日から夜警を開始したと

兄弟揃つて

みな兵役者

表彰方申請

平町三丁目田卷三木之助氏は長男榮一君(陸軍伍長)の外五名の男子があるが全部兵役の義務を果し二男米治

けふ農産物褒賞授與

終つて住吉屋本店に懇親宴

石城郡平町外一町七ヶ村聯合稻増收品評會及び農産物品評會の褒賞授與式は本日午後二時より元郡會議事室に於て舉行、野村審査長の審査報告あつて褒賞を授與し郡農會副會長長友太郎氏の式辭、聯合品評會長山崎與三郎氏の式辭あり伏見平町長其他來賓の祝辭に次ぎ神谷村苗代組組長の謝辭、受賞者總代として稻増收は小久富次氏、蔬菜は山名久治氏が答辭を述べ午後三時より住吉屋本店にて懇親會を開いたと、因に出品點數は蔬菜七百卅七點、稻増收九十六點、入賞點數は蔬菜

君は後備陸軍伍長三男金一君は現役輜重中尉(目下弘前師團)に勤務中で他は何れも兵卒であるが明年一月十日七男の明君が入營することになつたので皇國のため實に推賞に値するものありとなし同家の表彰方をこの程平町會に提出議決し近々中に福島聯隊區に願ひ出づる等

△増收品評(一等)湯本小久富治(二等)夏井志賀國太、湯本小野彌惣吉、夏井猪狩勉、飯野須藤藤四郎、(三等)草野高木誠一、外十七名(四等)草野渡邊直武廿四名
△米(二等)夏井山名久治、草野高木幹枝(二等)夏井永山友治郎、草野大木七太郎(三等)草野鈴木總平、外三名(四等)好間鈴木清十外七名
△大豆(二等)好間中村專治(二等)平窪折ノ内長司、夏井大和田千代春
△麥(二等)夏井渡邊孝夫、同渡邊管男
△葱(二等)平窪松崎彌一、同鈴木兼治(二等)好間鈴木兼治(二等)好間鈴木兼治(二等)好間鈴木兼治

專門の盜賊

前科四犯の男

住所不定茨城縣鹿島郡夏井村生れ前科四犯米川卯之吉(前)は去る二日夜石城郡玉川村大字岩出若松新之助所有の畑から蒔蒔十五貫を盗んだ外去月十日夜には同郡磐崎村大字下船尾富岡清三郎の畑から同じく五十二個を窃取し湯本町に賣却した事發覺平署菊地二瓶兩刑事に逮捕され

人形愛好者へ!!

人形や玩具に興味を有せられて是れを愛好し以前から蒐集して居た方、又はこれから蒐集しやうとする方々に御相談致し度い事がありますから其御氏名を「社内、川崎小鳥」宛に御一報を乞ふ



家庭欄

餅米の選び方

もち米は非常に種類が多いが田もち(岡穂)に二大別する事が出来ます、畑もち(田舎)は価格が安いのがねば

餅が少ないので多く駄餅や汁粉、大福、瓜般あられ等の原料となります。赤飯やお餅にしては値段の高い田もちの方がはるかに徳用です。田もちには餅もちより粒は小さくて圓いのが普通であります。畑もちには粒は大きめで、餅もちにくらべては内地白米と台湾米位の差がありますから餅にし

今年感の胃

悪性で傳染力強

今年の感冒はなかく悪性で傳染力も強いようであり、感冒にかかると鼻カタル、咽喉カタル、腸カタル、などの症状を起したり、甚しくなると結膜炎、氣管枝炎、肺炎時としては腎臓炎などを起すことがあります。殊に肺結核の輕快になりつゝある人とか一度肺炎カタルを病つた人が感冒にかかると往々にしてその病狀を悪化したり、再發したりする恐れがあります。からかゝる人々は特に注意せねばなりません、感冒の豫防法としては

一、身心の過勞と過食、過飲をさけて身体の抵抗力の減退を來さぬ様にすること
二、冷たい空気をさけるため早朝、夜間の外出をさける
三、寝冷えをしないこと
四、アンカとかその他の暖房装置の利用をあまり過らぬこと、あまり暖め過ぎたためかへつて風邪をひくようなことがある殊にアンカをつかふことは十分注意せねばならない
五、外出の時はマスクを使用する、マスクは冷たい空気を直接に呼吸しないばかりでなく、他人のせきのしぶきを直接に吸ふのをさけ、また自分のしぶきをばすともない

から公衆衛生の點からも是非用ひて頂きたい
六、人混みの中へなるべく行かぬこと、殊に子供は風邪から肺炎を誘發するから年末の人混みへ行くと避ければならない
七、帰宅後はホウサン水でうがひすること
八、時々入浴して皮膚の清潔を保つこと但し入浴後外出すると湯ざめをしやすくそのため風邪をひくことがあるから入浴後の外出は差控へること
次に罹かつた場合には賣藥熱さまし、うがひ、薬等を使用することではほることがあるが一回位使用して見ると熱、せき、下痢が依然として止まぬ時は出来るだけ早く醫師にかゝらねばなり

平驛の設備

完備に驚いた

山縣技師の談

南滿洲鐵道株式會社社長春事務所技師山縣嘉一氏は十八日來平驛の旅客運輸貨物輸送その他各般に亘つて詳細に調査し同日歸社したが平驛長室にて同氏は語る

機關車脱線

東線一時不通

十九日午前八時五十四分磐越東線川前驛構内で上り五〇號貨車の機關車が入換へ作業中脱線したので川前驛間は一時運轉休止となつたが漸く三時間餘で復舊した